

講義コード	11C0124000	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	蓮見 雄	開講期	第2期
科目名	EU 経済論2 / EU 経済B					蓮見 雄		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>EU ((European Union = 欧州連合) の影響は、EU という地域統合の枠組を超えて拡がりを見せている。ヨーロッパが、化学物質の安全性基準や環境対策について世界をリードし、その基準が事実上のグローバルスタンダードになりつつあることは、よく知られている。EU の政策の最大の特徴は、EU と加盟国が役割分担をしながら経済政策を進めている点である。ところが、その役割分担は、政策分野ごとに大きく異なっている。EU 経済を理解するためには、EU と国家の相互作用と相互の協力の下に進められる EU の経済政策について学ぶ必要がある。</p> <p>ヨーロッパ経済は、EU の共通のルールの下で営まれているが、同時に、大小様々な発展段階の異なる国家が共同市場を構成しているリージョナル・インバランスを抱えた地域統合でもある。それは、一方で金融危機を招く原因でもあるが、他方でヨーロッパ全域において国境を越える産業再編 (汎欧州生産ネットワークの形成) が進むというプラスの効果も生み出している。</p> <p>本講義では、第5次拡大 (東方拡大) 後のヨーロッパにおいて、EU 加盟各国、EU 域内各国 グループ、EU 近隣諸国にどのような政治・経済的变化が生じているか、EU と各国との間でどのような協力が行われているかに焦点を当てて、また EU の政策が世界経済にどのような影響を与えるかについて考えながら、広い視野からヨーロッパ経済を学ぶ。</p> <p>授業外学修を推奨する観点から、テキストの主な該当箇所を示す。ただし、テキストには詳しく説明されていない分野を含めて、より深く学べるように独自に作成した講義資料に基づいて講義を行うので、講義内容はテキストの目次構成とは必ずしも一致しない。</p> <p>なお、EU 経済Bを受講する者は、EU 経済Aを受講していることが望ましいが、本講義だけでも理解できるように授業を行う。ただし、EU 経済Aを履修していないものは、テキストの前半部分を自習することをお勧めする。</p>								
到達目標	<p>(1) ヨーロッパにおける EU 統合の深化・拡大の政治・経済的影響について理解する。  (2) EU と加盟国の役割分担に基づいて行われている様々な EU の経済政策に関する基礎知識。  (3) EU の政策がヨーロッパ周辺諸国及び世界に与える経済的影響について理解する。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>授業外学修を推奨する観点から、テキストの主な該当箇所を示す。ただし、テキストには詳しく説明されていない分野を含めて、より深く学べるように独自に作成した講義資料に基づいて講義を行うので、講義内容はテキストの目次構成とは必ずしも一致しない。授業外学修の内容については、授業計画を参照。予習40時間、復習20時間を想定している。</p>								
授業計画	<p>全て講義形式による。詳細については、初回授業時間中に改めて説明するが、配布資料を前日までに webclass に掲載する。空欄の部分を写しただけで理解できるわけではなく、講義を通じて、その空欄部分が重要である理由について理解し、空欄の部分以外でも重要なところはノートをとるよう心がけてほしい。</p> <p>【第1回】イントロダクション：冷戦終焉と EU・NATO の東方拡大と大西洋経済統合の制度的ダイナミクス  [授業外学修] テキスト18～24頁、33～40頁、379～385頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第2回】ヨーロッパの極を構成するフランス、ドイツ、イギリス (この回は、フランス、ドイツ)  [授業外学修] テキスト263～317頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第3回】ヨーロッパの極を構成するフランス、ドイツ、イギリスの経済とその特徴 (イギリス)  [授業外学修] テキスト318～347頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第4回】中東欧諸国と汎欧州生産ネットワークの拡大  [授業外学修] テキスト227～228頁、286～403頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第5回】欧州北部 (北欧)・欧州北東部 (バルト三国) の経済的特徴とバルト経済圏の胎動  [授業外学修] テキスト370～377頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第6回】南欧諸国とユーロ危機  [授業外学修] テキスト348～360頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第7回】世界経済の中のユーロ  [授業外学修] テキスト428～456頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第8回】授業内テスト及び解説/質疑応答  ここまで内容について小テスト (60分) を実施し、終了後にテスト内容について解説を行う。また質問を受け付ける。</p> <p>【第9回】EU の経済ガバナンスと EU 財政：補完性原則と比例性原則、政策指針としての EU 財政構造の変化  [授業外学修] テキスト25～32頁、99～105頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第10回】EU の経済ガバナンスと EU 財政：補完性原則と比例性原則、政策指針としての EU 財政構造の変化  [授業外学修] テキスト25～32頁、99～105頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第11回】EU の労働政策：少子高齢化、移民、積極的労働市場政策、フレキシキュリティ  [授業外学修] テキスト229～245頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第12回】リージョナル・インバランスと EU の構造政策  [授業外学修] テキスト246～261頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第13回】EU の気候変動エネルギー政策  [授業外学修] レポート課題テキストの予習、配布資料と講義の復習 (EU において環境政策とエネルギー政策は一体化しつつあるので、まとめて講義するが、時間の制約があるため講義できる内容は限られる。それを補完するために、レポート課題を課す。</p> <p>【第14回】EU の戦略的パートナーシップ政策：TTIP、日 EU・EPA、対ロシア、対中国  [授業外学修] テキスト404～427頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第15回】授業内テスト及び解説/質疑応答  ここまで内容について授業内テスト (60分) を実施し、終了後にテスト内容について解説を行う。また質問を受け付ける。</p>								
成績評価の方法	<p>レポート課題30%、第8回授業内テスト30%、第15回授業内テスト30%、平常点10%  評価は、以下の基準による。</p> <p>(1) EU の拡大の政治・経済的基礎とその影響について基礎知識を習得できているか。  (2) EU の経済政策に関する基礎知識及び各分野の EU と加盟国の役割分担を理解しているか。  (3) EU の経済政策が各加盟国に与える影響について理解できているか。  (4) EU の各種の政策が世界に与える影響について理解できているか。  (5) EU と日本のエネルギー政策の根本的な違いを理解できているか。</p> <p>レポート課題のテキスト：市民のエネルギーひろば・ねりま編『地元で電気をつくる本』(ぶなのもり、2014年) を読み、「EU と日本のエネルギー政策の違い」というテーマで、約3000字 (A 4で2～3枚程度) のレポートを作成して、webclass にて提出 (提出期限は第15回授業終了後1週間以内)。</p>								
フィードバックの内容									
教科書	『現代ヨーロッパ経済 第4版』田中 素香、長部 重康、久保 広正、岩田 健治 (有斐閣) 2014								
指定図書	『中東欧の資本主義と福祉システム』堀林巧 (旬報社) 2016、『資本主義の本質について』コールナイ (NTT 出版) 2016、『欧州周辺資本主義の多様性』ポーレ (ナカニシヤ出版) 2017								
参考書									
教員からのお知らせ	<p>全て講義形式による。授業運営の詳細については、初回授業時間中に改めて説明するが、配布資料を前日までに Webclass に掲載する。空欄の部分を写しただけで理解できるわけではなく、講義を通じて、その空欄部分が重要である理由について理解し、空欄の部分以外でも重要なところはノートをとるよう心がけてほしい。</p>								
オフィスアワー	<p>本授業に関する質問・相談は、学部に定めるオフィスアワーにて受け付けます。また、WebClass のメッセージ機能でも受け付けます (利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照)。</p>								
その他	<p>2017年9月22～24日、八王子セミナーハウスで、本講義担当者を含む8人の EU 研究者の指導の下に、約100名の学生が学ぶ第6回 EU セミナーが開催される。興味のある方は、積極的に参加して欲しい。  <a href="http://www.seminarhouse.or.jp/seminar_kaisaiichiran/eu_top.html">http://www.seminarhouse.or.jp/seminar_kaisaiichiran/eu_top.html</a></p>								